



ニュースで伝える全麺協の今

発行:全麺協ニュースフラッシュ編集グループ
編集責任者:専務理事 赤羽 章司

令和4年度 第5回理事会開催報告

令和5年1月31日(火)午後7時から、Web会議形式で「第5回理事会」が開催されたので、その概要をお知らせします。

1 報告事項

(1) 事務局

①入退会報告

(2) 事業経過報告

①30周年記念式典及び第1回五段位全国大会

②六段位選考会

(3) 段位認定制度検討委員会報告 <全員了承>

2 議事

(1) 特任審査員選考について

次の7名の特任審査員を承認する。

中谷信一(理事長)

赤羽章司(専務理事)

坂本勝之(幌加内そば工房 坂本)

丸山勝孝(奈井江手打ちそば道光会)

田中崇喜(信州そば道場)

廣澤幸雄(栃木のうまい蕎麦を食べる会)

鈴木光雄(さいたま蕎麦打ち倶楽部北本)

<全員了承>

(2) 令和4年度収支状況について <全員了承>

(3) 令和5年度基本方針と事業計画について

*基本方針:中谷理事長

① 設立30周年記念式典及びそば道五段位全国

大会は初期の目的を達成し、全麺協の社会的地位の確立、会員が仲間としての帰属意識を認識するために成功裏に収めたい。

②そば道段位認定制度の改善。高齢化に対する対応が必要。

③全麺協の将来のため、次世代の人材育成を進める。

④支部、本部の連携強化。本部と支部の会計事務の統一化。本部と支部の関係性の見直し。

支部長会議を月1回程度開催したい。支部の総会へ本部役員が参加する。

⑤研修センターの利活用と存続の有無について、また、首都圏支部の活動起点となるかを検討する。本部事務局体制の強化。

*各部の事業計画について各部長口頭で説明

*各支部の事業計画について各支部長から説明

<全員了承>

(4) その他

各支部長から来年度の人材育成について意見表明がされた。

会員データの活用、会費徴収手数料の内容、

ガイドラインの見直しについて、質議があった。

<全員了承>

五段位筆記試験について

五段位受験に関わる「筆記試験」は、これまで各自が「そば打ち教本」を学習し、従来は東京に集合して行われる筆記試験に臨んでいました。

しかし、会員の高齢化に伴い、「そば打ち教本」を自習して試験に臨むことはかなりハードルが高く、改善が求められていました。

令和5年度から、下記により、従来の筆記試験の受験環境を改善し、多くの会員が高段位を目指すことが可能になるよう配慮しましたので、五段位受験希望の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

記

1 本部主催にて「筆記試験講習会(講習会と筆

記試験)」(1泊2日)を、各支部で「同日・同時刻」に行う。

2 講習会当日に、各教科ごとに筆記試験を行う。

3 筆記試験講習会は「7月15～16日」に実施する。

4 講師は全麺協役員が当たり、テキストは「新版そば打ち教本」とする。

*事前に同テキストを熟読(予習)し、当日持参する。

5 筆記試験受験料「5,000円」は、当日納入する。

令和5年度事業計画(案)

※1月末時点の計画案です。今後変更になることがありますので、ご注意ください。

年	月	日	事業	場所	所管
5	4	9	五段位筆記試験座学		西日本支部
		16	初二段位認定会	北斗市	北海道支部
		29	初二段位認定会	石狩市	北海道支部
			中日本支部総会	富山市	中日本支部
5	7		西日本支部総会		西日本支部
		13~14	段位別腕自慢大会	大田原市	東日本支部
	14		北海道支部総会	滝川市	北海道支部
			初二段位認定会	久喜市	首都圏支部
	20		そば道北海道大会道央地区予選	江別市	北海道支部
			四段位認定講習会		東日本支部
	21		初二段位認定会	江別市	北海道支部
			四段位認定講習会	姫路市	西日本支部
	27~28		全麵協創立30周年記念式典	富山市	本部・中日本支部
			そば大学、四・五段位認定講習会	富山市	本部・中日本支部
6	3		首都圏支部 総会	千代田区	首都圏支部
		10	初二段位認定会	郡山	東日本支部
		地方審査員審査技術研修会	高山市	中日本支部	
	11		そば道北海道大会空知地区予選	奈井江町	北海道支部
			初二段位認定会	奈井江町	北海道支部
			四段位認定講習会	新得町	北海道支部
	17	定時社員総会	千代田区	本部	
	24		初二段位認定会	中標津町	北海道支部
			そば道北海道大会道東地区予選	中標津町	北海道支部
	25		東日本支部総会		東日本支部
		初二段位認定会	伊勢原市	首都圏支部	
未定		初二段位認定・越前大会	福井市	中日本支部	
7	1		初二段位認定会	仙台市	東日本支部
			初二段位認定会	苫小牧市	北海道支部
			そば打ち名人大会	仙台市	東日本支部
			四段位認定講習会	台東区	首都圏支部
	8		初二段位認定会	幌加内町	北海道支部
		8~9	四段位技術研修会	滝川市	中日本支部
	9		三段位技術講習会	幌加内町	北海道支部
			地方審査員技術研修会	姫路市	西日本支部
	15~16		五段位筆記試験		本部・各支部
		23	そば道北海道大会道南地区予選	長万部町	北海道支部
23		指導員三級指導技術講習会	塩尻市	中日本支部	
未定		三段位受験者技術研修会	台東区	首都圏支部	
8	2		全国高校生そば打ち選手権大会	港区	本部
			審査技術実践研修会	松本市	中日本支部
	27		指導員技術講習会	伊達市	北海道支部
		未定	三段位受験者技術研修会	台東区	首都圏支部

年	月	日	事業	場所	所管	
5	9	3		三段位認定会	幌加内町	北海道支部
				三段位認定会	板橋区	首都圏支部
		17	初二段位認定会	塩尻市	中日本支部	
		23	第3回高校生初段位認定会	群馬	東日本支部	
	23~24		四段位認定会	山梨県	中日本支部	
	24		初二三段位認定会	群馬	東日本支部	
			四段位技術講習会	中標津町	北海道支部	
	未定		四段位認定会	栃木or福島	東日本支部	
	10	1		五段位技術講習会	幌加内町	北海道支部
			7	三段位認定大会	松本市	中日本支部
		そば道北海道大会道北地区予選	東神楽町	北海道支部		
8			初二段位認定会	東神楽町	北海道支部	
		14~15	四段位認定会	中標津町	北海道支部	
21			地方審査員審査技術研修会	旭川市	北海道支部	
		22	そば大学in旭川	旭川市	北海道支部	
28~29			五段位本審査会	新得町	本部・北海道支部	
未定			初二段位認定会	階上町	東日本支部	
未定			四段位認定会	埼玉県	首都圏支部	
未定		初二段位認定会	板橋	首都圏支部		
11	8		第1回五段位全国大会	港区	本部	
			三段位認定会	千葉県	首都圏支部	
			初二段位認定会	千葉県	首都圏支部	
			三段位認定会	仙台市	東日本支部	
	18~19		四段位技能審査	尾道市	西日本支部	
		19	そば道北海道大会全道大会	石狩市	北海道支部	
		高校生そば打ち選手権	仙台市	東日本支部		
	25		初二段位認定会	日光市	東日本支部	
			初二段位認定会	富山市	中日本支部	
	26		三段位認定会	日光市	東日本支部	
		三段位認定会	富山市	中日本支部		
12	未定	初二三段位認定会	寒河江	東日本支部		
6	1	未定	地方審査員 審査技術研修会	東京都	首都圏支部	
		未定	指導員三級任用講習会	姫路市	西日本支部	
	2	4	三段位技術講習会	江別市	北海道支部	
		17	指導員三級任用講習会	茨城県	首都圏支部	
		未定	初二段位認定会	埼玉県	首都圏支部	
	3	2		第3回首都圏支部名人戦	茨城県	首都圏支部
				初二段位認定会	北竜町	北海道支部
			第3回首都圏支部チーム団体戦	茨城県	首都圏支部	
		16	第3回指導員三級任用講習会	常滑市	中日本支部	
		17		指導員三級任用講習会	滝川市	北海道支部
			初二段位認定会	長和町	中日本支部	
24		三段位認定会	江別市	北海道支部		
未定		初二段位認定会	茨城県	首都圏支部		
未定		三段位認定会	茨城県	首都圏支部		

会員だより

インドネシアそば紀行（宮城手打ちそば研究会）

宮城手打ちそば研究会は、全国のそば打ち仲間に声をかけ、これまでにキューバ、アメリカ、イタリア、パチカンなどで現地の日本大使館のサポートを受けながら「手打ちそば」の文化を披露してきました。今回は全麵協の共催を受け、令和4年12月22日にインドネシアの首都ジャカルタに本部を置く東南アジア諸国連合（ASEAN）の事務局で、日本政府代表部が主催する「手打ちそば」の和食プロモーションイベントに参加してきました。また同年12月24日には、「在留日本兵の子孫が作る福祉友の会」において、「手打ちそば」の技を披露し、その味を楽しんでいただきました。（宮城手打ちそば研究会代表：柏倉寛充 全麵協専務理事 赤羽章司）

（ASEANでのイベント）

このイベントには、日本政府代表部の紀谷大使を始め、ASEAN本部のリム総長、タイ常駐代表のウラワディー大使など、加盟各国の大使が参加され、そば打ちの技に見入っていました。またお蕎麦を食されて、紀谷大使は「食を通じた交流も大切で、食は文化を超える。」と話されていました。



Experience Japanese Food Culture

Try and Enjoy "Real" Japanese Cuisine

-The 50th Year of ASEAN-Japan Friendship and Cooperation -

Date: 22 December, 2022

Time: 11:30-13:30

Venue: Dining Hall, ASEAN Secretariat
Admission: Free

Teuchi Soba (manual made Japanese noodle)
- Savoring Essential Piece of Washoku -



Demonstrated by Mr. Kashikura and Japanese Soba Making Masters



*Negative antigen test result is required to enter the ASEAN Secretariat.
*FOOD ALLERGY WARNING: Soba noodle contain buckwheat and wheat.

More info please contact:
yoshiaki.inada@mofa.go.jp; christine@dj.mofa.go.jp

Mission of Japan to ASEAN
http://www.asean.emb-japan.go.jp/



日本政府代表部 紀谷大使(向かって左から2番目)
他 ASEAN本部関係の皆さん

（福祉友の会でのそば会）

「福祉友の会」の中には日本人の2世3世の方が多く、日本のそば文化について大変興味を持たれました。またインドネシアでソバの栽培を手掛けている方も参加しており、栽培技術を始め収穫保管、製粉、加工等について助言を求められました。当地では1年の内に5回収穫が出来るようで、今後その発展に期待が持てると同時に、さらに技術支援することで日本との交流が進展するよう思いました。ジャカルタに在る「だるまプルサダ大学」の事務局長からは、今夏7月下旬に開催される大学祭に、ぜひ「そば打ち」を披露して欲しいと要請があり、何らかの形で協力したいと感じた次第です。



福祉友の会の皆さんと日本のスタッフ



インドネシアのソバ畑

六段位受験者並びに新特任審査員を対象にした 全麵協に対する理解を深める研修会を開催します

3月13日に六段位選考会が開催されますが、「六段位受験者」並びに新たに任用されます「特任審査員」には、そば打ちの技術だけでなく文化的・社会的意義の理解や、全麵協組織に対する認識も深める必要があります。そのため、選考会に先立ち、次により、合同研修会を実施します。

1. 研修会の主旨

受講者が全麵協を牽引する存在となるよう、全麵協への理解をより一層深めてもらうこと。

2. 開催概要

日程：2023年3月12日（日） 13：00～16：30

場所：東京都立産業貿易センター浜松町館 第1会議室（4階）

時間	内容
13：30 ～ 14：45	第1部 全麵協の現在地を知る ■理事長挨拶（5分） ・研修会の主旨説明 ■講演 「全麵協の活動が果たしてきた役割」（40分） 講師：松蔭大学教授 古賀学氏 ・全麵協の活動が、地域の文化醸成にどのような役割を果たしてきたのか、外部から見た社会的意義を、歴史を振り返りながらひも解く。 <input type="checkbox"/> 質疑応答（20分） <input type="checkbox"/> 感想共有（10分）
14：45 ～15：00	休憩
15：00 ～ 16：30	第2部：全麵協のこれからを考える ■課題提起（10分） ・理事長より、30年を迎えた全麵協という団体の課題（活動の課題、組織体制の課題）を説明 ■意見交換（80分） ・今後の全麵協の活動、組織の在り方について、意見交換。 ＊ファシリテーター（会議の進行、活性化推進役）として、一般社団法人Reboot代表伊藤悠氏に協力を依頼

スロヴェニア共和国の紹介

スロヴェニア共和国はヨーロッパの中南部にあり、オーストリア、ハンガリー、クロアチア、イタリアに囲まれた日本の四国ほどの広さの国です。皆さんご承知のように、スロヴェニアはソバの生産国であり、粉や実を使った様々な料理があります。また、同国の元リュブリアナ大学生物工学部のイワン・クレフト教授は、「国際そば学会（IBRA）」を創立し、日本の研究者も多く参加しています。1992年に富山県利賀村で開催された「世界そば博覧会」にはイワン・クレフト教授も参加し、中谷理事長とは旧知の友の関係にあります。本年5月に富山市で開催される「全麵協30周年記念式典」には、スロヴェニア共和国大使のご臨席が予定されています。



首都リュブリアナ(タビジン引用)



ソバ畑(らいあん 萩原氏より提供)

全麵協ニュースフラッシュ編集グループ

編集責任者 赤羽章司

編集主任 原秀夫

チーム員 山本良明 萩原敏彦 横田節子

皆様からの情報提供をお待ちしています。